

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生涯学習センター施設管理事業			会計	款	項目	大事	小事
				01	10	05	02	01 02
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課			
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	恩田 一成			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	生涯学習センター（建物）	意図	破損事故の復旧にかかる支出を最小限にとどめ、施設予約及び施設利用の円滑化を図る。
事業内容	生涯学習センター（流山エルズ）に係る指定管理者が行なう事業以外の庶務事業（建物損害保険、施設予約システムにかかわるネットワーク通信料）及び突発的な修繕（30万円以上）。			
事業開始から現在までの状況変化	平成17年度に県から移譲された県立流山青年の家を生涯学習センター施設にする改修工事を行い、平成18年4月から指定管理者制度による維持管理運営を開始した。生涯学習センターは既存施設の一部を改修し、オープンしたものであり、付帯設備である予約システムに係る経費等、必要最小限の維持費用は継続している。平成25年度にESCO事業に伴う空調・照明改修工事を実施し、施設の改善が図られた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	開館日数	348	347	347	日	→→	年間開館日数
②	稼働率	49.70	54.80	56.20	%	↑↑↑	各会議室全体の稼働率	
③	利用件数	17002	18164	19001	件	↑↑↑	貸し時間単位件数の年間合計	
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 利用件数は昨年を上回っており、市民満足度の高い施設運営を行っている。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,908,344	2,755,392	2,213,536				
事業費(b)(円)		2,649,344	695,892	199,936				
うち一般財源		2,649,344	695,892	199,936				
職員給与費(c)(円)		2,259,000	2,059,500	2,013,600				
人役・職員(人)		0.30	0.30	0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	施設内の掲示物の見直しや表示を見やすくする等利用者目線での改善を行う。また、利用者からの意見を聞いて改善に努める。	③取組の課題	施設の経年劣化が見られるので、修繕の必要性を把握する必要がある、長期的な施設改修計画が必要である
②今年度(H29)に実施した取組	施設内の掲示物の見直しや表示を見やすく改善した。利用者からの意見を聞いて備品の修繕及び購入を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	現在、個別施設計画を策定中であり、施設の効率的な改修を計画していく。